

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人千鳥会	代表者	吉村秀樹	法人・事業所の特徴	事業所の定員や体制に応じてではあるが、個々ご利用者が必要としている支援を行っている。要介護度や事業所都合での支援内容の制限、調整は行っていない。登録制で通い・泊り・訪問を柔軟に組み合わせ、日々の状況に合わせて担ったサービスを提供している。また、相談に対し、できる事を提案しながら利用者家族と一緒に悩み考え寄り添って行ける事業所でありたい。コロナ感染状況に応じて、地域行事参加への軽減はあるものの、できる事を考えこれまでの生活スタイルを大切に、その人らしく生活が送れるよう、より良い支援に結び付けたい。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ	管理者	寺谷善正		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>②【～したい】の実現 一職員が自宅訪問と事業所での対応を合わせた支援を行うため、自宅、事業所での生活全般において、利用者の生活が見えてしまう。その事によって、ご家族との思いの違いに悩む場合が多い。関わりを通しご利用者ご家族と共に悩み、一緒に考えていけるように月1回の検討会議にも掲げていきスタッフ間で再度把握していく。</p> <p>⑥【連携・協働】 感染対策を講じながら、継続課題とし事業所からの地域への発信を行い、ほほえみ全体として来所しやすい雰囲気作りに努め、多機能職員も関わる多目的ホールの毎月の展示等で訪れてもらえるよう工夫していく。</p> <p>⑧【質を向上するための取組み】 感染状況に伴い、職場外での研修参加、機会は少なかった。また、</p>	<p>2. ご利用者のご家族、それぞれの思いが違うこともあるが、日々の関わりを続ける中で、支援内容を一緒に考え、お互いに理解して、同じ目標に向かうことが出来るよう取り組んでいます。また多機能会議では各ご利用者について職員間の意識を統一することで、支援の方向性がずれないようにしています。</p> <p>6. 感染対策の継続により、一般の方の事業所への立ち入りは制限が続いているが、SNSを使用しての行事や日常の様子発信に取り組んでいます。多目的ホールの展示については、ご利用者や来所されたご家族に楽しんでいただくことが出来ています。</p> <p>8. 感染対策継続の影響により、職場外での研修参加は困難な状況が続いています。地域連絡会への参</p>	<p>②【～したい】の実現 ご本人の当面の目標については把握出来ていることが多いが、ご本人からの確認が難しい場合等、明確に把握出来ていない場合もあります。また、当面の目標を重ねたその先の目標にまでは目を向けられていないことがあります。コロナ感染対策の影響もあり、当面の目標の達成が難しくなっているものや、日々ご本人の状態が変化していく中で、その時その時の状態に応じた支援を考える事が多くなっている現状があります。</p> <p>⑥連携・協働 コロナ感染対策の継続により、地域の活動やイベントへの参加や、事業所へ外部の方が訪れることは制限しており出来ていません。また、地域との会議や関係機関との連携については代表</p>	<p>②【～したい】の実現 ご本人の目標「ゴール」について明確にし、各職員が把握することで、状況の変化等により当面の目標が変更となっても、最終的なゴールに向けて継続的な支援に取り組めるようにしていきます。初期支援時等、目標がまだ明確になっていないケースもあるが、利用開始後の早い段階に職員間で共有出来るようにしていきます。</p> <p>⑥連携・協働 感染対策を継続していく中でも、状況を見ながら地域の活動やイベントへの参加を検討し、地域や関係機関との連携向上に取り組めます。また、代表職員が出席した会議等の内容についても、事業所内での伝達を行い、共有出来るようにしていきます。</p>

	<p>地域連絡会参加においては、緊急時等を除き、できる限り行えるようにする。また、参加職員については主たる介護職員に更に関係機関との連携により多く関わってもらい、連絡会にもスムーズに参加してもらえようとする。(継続)</p>	<p>加については、可能な範囲で行えるようにしていますが、継続して参加するには至っていません。</p>	<p>職員の参加となっており、会議等の内容についても各職員へ伝達していくことが必要だと感じます。</p> <p>⑧質を向上するための取組み コロナ感染状況や職員状況の影響もあり、職場外の研修や、資格取得、スキルアップ研修への参加は難しい状況が続いています。リスクマネジメントについては、事故防止への対策を実施しているが、繰り返しとなるケースもあります。</p>	<p>⑧質を向上させるための取組み 感染対策を継続していく中でも、オンラインでの研修等の開催もあるため、職場外研修への参加も検討していきます。リスクマネジメントの面では、職員間で意見を出し合い、効果的な対策を見つけられるように継続して取り組んでいきます。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	なし	なし
C. 事業所と地域のかかわり	なし	なし。	なし	なし
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なし。	なし。	4. ご利用者以外の心配な方は、地域・近所の方からの声が上がれば、対応出来る範囲で見守りサービスや配食サービスを通して関わりを行っています。	なし。
E. 運営推進会議を活かした取組み	なし。	なし。	なし。	なし。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>1. ライフライン、拠点となるように事業継続計画を作成している。被災する箇所の把握も必要である為、地域の意見も聞きながら作成にあたりたい。</p> <p>3. 8月に事業所内での避難訓練実施に伴い、感染対策としてウッドデッキより見学会を予定していたが、感染状況により中止となってしまった。継続課題である。</p>	<p>1. 事業継続計画は概ね完成しており、会議メンバーの皆様から意見等いただきたい。</p> <p>3. 感染拡大の状況により、今年度も見学会は実施出来ていない。</p>	<p>0. 事業継続計画【BCP】が完成した際は、この会議で意見をいただきたいと思います。</p> <p>3. ほほえみとしても淡路市が行う防災訓練に参加させてもらいたいと思います。</p> <p>4. 入居者が中心となる中で、外部からの受け入れは難しいのではないかとされる。</p> <p>淡路市との協定を結んでおり、事業所は避難施設となっています。</p>	<p>1. 事業継続計画【BCP】に沿って避難訓練を実施し、内容の修正等を行っていきます。</p> <p>3. 感染状況を見ながら、運営推進会議メンバーの皆様の事業所内避難訓練の見学、参加を検討いたします。</p>
----------------------------	---	--	--	---